



桜満開の青空の下、令和3年度入学式が4月3日、本学体育館で行われ、国際学部127人（内編入1人）、経営情報学部192人、合わせて319人の新入生が、みずき野キャンパスでの学生生活をスタートさせました。

野崎茂学長は「大学で学ぶことは、技術や知識を単に教えてもらうことではない。外から取り入れた知識や情報を咀嚼し、体系づけて組み直す訓練をすることにほかならない。自分とは異なる他者と交わる『場』を広く作っていく、とこそ、大学生活の醍醐味です」と式辞を述べ、「豊かな人間性と高

令和3年度新入生おめでとう



## 難局乗り越え 新たな歴史をつくろう

い専門性を身につけてほしい」と呼びかけました。

続いて派遣留学などで提携するアメリカ、ロシア、中国、韓国、カナダの5大学から寄せられた祝福メッセージをスクリーン映像で紹介。在学生代表の歓迎の言葉を受けて、新入生代表の経営学科・外谷森太郎さんが「4年間を有意義なものにするため、好奇心を忘れず、日々成長していくことを誓います」と抱負を述べました。

昨年度はコロナ禍で中止されたため、2年ぶりの入学式となりました。今回は感染防止対策のため入場者を制限し、保護者は別会場で映像を閲覧、恒例の「校歌斉唱」もない異例の式典となりました。

また、会場に来れない保護者やご家族が自宅などでご覧いただけるよう、YouTube Liveで同時配信を行いました。

爛漫の花の下 晴れやかに319人



## CONTENTS

## 2～5面

令和3年度入学式特集  
学長式辞  
新入生代表・私の抱負

在学生代表・歓迎の言葉  
新任教員紹介  
両学部長のメッセージ  
オープンキャンパス案内

## 6・7面

佐藤泰子研究室  
語学を活かしてボランティア活動  
佐々木寛社会人ゼミ  
個別企業説明会  
湧源  
教員の活動

## 8～12面

令和2年度卒業式特集  
学長式辞・理事長祝辞・卒業生答辞  
退職教員あいさつ  
JABEE認定プログラム 23人に修了証書授与  
卒業にあたって 特別表彰  
式典スナップ



NUISホームページ  
https://www.nuis.ac.jp  
(スマートフォン対応)



Facebookページ  
https://www.facebook.com/nuis.face



Instagram



Twitter  
@nuis\_nabbit



YouTube  
公式  
チャンネル



## 入学式

## 式辞

新潟国際情報大学  
学長 野崎 茂

れた生活と、さぞかし気を揉むことの多かった1年であったことでしょう。他の学年、他の世代以上に大変な1年を送ってこれたのだと思います。

本学でもご多分に洩れずコロナ騒動に翻弄され続けた1年でした。これを簡単に振り返ってみましょう。

1年少し前コロナ厄災が猛威を振るい始めた春先、本学は直ちにオンラインによる遠隔授業の導入を決定し突貫作業で訓練を行った結果、周囲に先駆けてGW前にはオンライン遠隔授業開講に漕ぎ着けることができました。そしてそのままGWを返上し

学修を続け、前学期終了時には遅れを挽回致しました。また遠隔授業で対応していた前学期中にあっても新入生に関しては「キャンパス内を知らない。同級生とまともに顔を合わせたこともない。」という不満を少しでも解消してやりたいという意味合い

を施したうえで、敢えて従来型の対面授業に移行することと致しました。こうして振り返って見ますと、もちろん自画自賛ではありますが、早く早めに万全の対策を講じながら常に半歩先、あるいは一歩先を進んできた感があります。

この1年間、多くの大学生が「自分が入学した大学のキャンパスに顔を出すこともできない。授業はすべてオンラインだ。教師や友人たちとゆっくり語り合うこともできない。」と不満を募らせていたと報じられています。政府からの要請もあり、各大学においては今年度に入りようやく対面授業の割合が増えつつあるようですが、本学ではこまめにアンケート調査を実施して皆さんの要望を聞きながら安全かつ充実したキャンパスライフを送ってもらうことに腐心しております。

これから皆さんと一緒に始めて参ります新学期もこの路線を踏襲していくつもりです。

平成6年（1994年）創立の本学は昨年には新たな四半世紀に向けて第一歩を踏み出し始め、この機に合わせて「新潟国際

## 大学は異なる他者と交わる場

IS）中期計画  
Ⅱ（2020～  
2024年）」

を策定致しまし

し入学してくださった皆さんを、私たち教職員一同は諸手を挙げて歓迎し、万全の態勢を以て教育し鍛え上げていくことを約束致します。

皆さんはこの1年間どのように過ごして来られたのでしょうか。新型コロナウイルス感染症への対応に加え受験勉強に明け暮

も込め、みずき野キャンパスへ参集してもらうなどの企画も実施致しました。

9月から始まった後期授業においては、本学周辺の他大学が遠隔から対面授業への切替えにためらいを見せている中ではありましたが、感染状況を慎重に見極めながら新潟県の警報、指示に従うなど万全の対策

遂に向けて努力して参ります。

こうして新たな歩みを始めておりますタミングに国際学部国際文化学科に127名、経営情報学部経営学科に109名、同情報システム学科に83名、合計319名の新入生の皆さんを迎え入れることとなりました。これが皆さん方29期入学の同期生ということになります。同期生の顔を覚えるのにちょうどいい規模、同期生のみならず先輩、後輩も含めた強力なネットワークを構築することが出来る適正な規模なのではないでしょうか。

私たち教職員は皆さん方がそれぞれの志を全うできるよう、そして「国際化、情報化の社会の中で高い専門性を身につけ、豊かな人間性を兼ね備え社会に貢献できる人材」に育って行くよう全力を尽くします。

ところで大学で学ぶこと、他ならぬ本学で学ぶことを選択してくださった皆さんにお尋ねします。本学で学びたいことは何ですか。そしてそもそも大学で学ぶということとはどんなことでしょうか。

多くの方が知識、技術を身につけ世の中に役に立つ人間になりたい、即戦力として活躍できる人間になりたいと考えておられることと思います。当然のことだと思います。もちろんそれも大切なことです。でもそれだけではないのではないのでしょうか。大学で学ぶということはすぐにその場で役に立つ技術や知識をただ単に教えてもらうことではないはずです。

皆さんはこれからの学びの際にこれまで以上にパソコンやスマホを多用することになるはずですが、既存の技術や知識であれば気の利いた検索エンジンを利用することによって、その信頼性はともかく、何らか

の回答は簡単に得られるはずですが。しかしそれは単なる情報の検索に過ぎません。いわゆる「コピペ」による安易な引用と同じことになります。つまりこれは単に既存の知識を写し取っただけ、真似ただけに過ぎません。大学で学ぶということは外から取り入れた知識や情報を自分で咀嚼し、整理し、体系づけて組み直してみる、そういう訓練をするということにほかなりません。そのためには自分のそれまでの考え方を乗り越えていくきっかけが必要であり、それには自分とは異なる考え方を持つ他者と交わる場が必要なのではないでしょうか。そうした交わりをできるだけ多く、広く持つような「場」を作って行くこと、それこそが大学生活を送る醍醐味なのではないでしょうか。

そして更に皆さんに充実した大学生活を送っていただくために本学では哲学、美学、文学、音楽といったリベラルアーツの世界に遊び、大学生としての一般教養を涵養することも奨励しています。その一助とすべく本学は13万冊を超す蔵書を抱える図書館を設け、最近では毎年約4〜5千冊の図書書籍を購入しております。ここにこの度

## 未来を創る大学

コミックコーナー「No.9」を新設致しました。このネーミングはフランスのルブル美術館がフランス語圏で発達したマンガ文化を「建築」「彫刻」「絵画」など8つの芸術ジャンルに次ぐ第9の芸術と位置付けたことに因みます。マンガは立派な芸術であり文化なのです。本学でもマンガを、日本人文

# 本学の新たな歴史をつくらう

化を形成する重要なコンテンツとして捉え、今般図書館内のコーナーとして設置したものです。これは新潟の大学としては極めて先進的な取り組みであると自負しております。皆さん是非本コーナーに足を運んでみてください。そして本コーナーの新設が他の図書書籍を含めた図書館全体の活発な利用につながることを期待しております。さて、皆さんにもう一つ是非お伝えして

中でも、世帯収入への影響やアルバイト機会の減少などにより、経済的な困難が生ずることがあるかも知れません。万一そのような事態が起こった場合ということですが、昨年度から国も修学支援制度を充実させておりますし、日本学生支援機構をはじめ県や市の奨学金制度あるいは篤志家による奨学金制度もあります。本学でも独自の奨学金制度を設けて皆さんが大学生活を安心して送ることが出来るようサポートをしております。現在是在学生

の約75%の方々が何らかの形でこれら奨学金を利用してありますし、最近3年間にはそれぞれ20件を超す家計急変相談があり、それぞれ適切に措置が講ぜられております。

経済的理由による休退学は絶対起こしてはならない、これが私たちの願いです。休退学は自分自身や周りの方々にとつての損失だけではなくありません。社会にとつての損失です。私たちの大学は1学年300人強のこじんまりとした大学ですが、その分結束力の強い、面倒見のいい大学です。必要なことは何でも教員、あるいはキャンパスライフ支援委員、学務課、学生支援センター職員に相談してください。外部の専門家の紹介も可能です。親身になって相談に乗り、問題解決のために一緒に頑張ってまいります。

## 私の抱負



新入生代表 経営学科 1年 外谷 森太郎

のお言葉や、両親をはじめ私たちを支えてくださった方々に、心より御礼申し上げます。

能をこれからの大学生活で身につけ、将来私が活躍できる場を見つけ、社会に貢献したいと考えています。

現在、インターネットの発達やグローバル化により国境という壁を越えやすくなり、世界中の情報を得たり世界中の人々と繋がったりする機会が増えています。

また、勉学に励むだけでなく、日々の大学生生活やクラブ、サークル活動などを通して人間関係を広めたり、自身の見聞を広めたりしたいと考えています。

## 好奇心を忘れず

## 成長続けたい

この新潟国際

暖かな春の訪れとともに、私たちは新潟国際情報大学の入学の日を迎えることが出来ました。

本日は私たち新入生のために、このような素晴らしい入学式を挙げて頂き、誠にありがとうございます。また、数々の激励

世界には、私たちが活躍できる場がたくさんあると私は考えます。こういった場を得るためには、外国の人達とコミュニケーションをとるための言語や情報を発信する技術が必要となります。こういった知識や技

情報大学での4年間を有意義なものにするために、好奇心を忘れずに経験豊富な先生方から知識や技術を学び、日々成長していくことをお誓いし、新入生を代表し、抱負とさせていただきます。

さあ皆さん、一緒に手を携えてこの難局を乗り越え、本学の新しい四半世紀、次なる四半世紀の歴史をつくって参りましょう。ご入学誠にありがとうございます。





在学生代表  
情報システム学科  
島垣 光

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。またご父母の皆さまにも、お祝い申し上げます。在学生を代表し、皆さんに歓迎の意を表したいと思います。

## 何事にも挑戦しよう 友達・仲間をつくらう

です。大学は皆さんが今まで過ごしてきた高校とは違い、とても自由です。それは学修においても、今まで「与えられてきた課題」が中心の学習から、自分自身で「課題」を見つけ、それを解決する場面が多く求められます。これはこの先社会に出て求められる力であり、大学で過ごす4年間はこの力を養うには絶好の期間であると思います。そこで、多くの「課題」を自分に課すうえでも、ぜひ何事にも積極的に挑戦し、学生の間にしかできないような経験を多くして欲しいと思います。

二つ目は、「友達や仲間を多く作る」とです。これは一つ目に

はじめに、私は昨年度の入学式でも在学生代表としてご挨拶させていただく予定でしたが、未だ世間で猛威を振るっています「新型コロナウイルス感染症」の感染拡大に伴い、残念ながら皆さんの一つ上の先輩たちは入学式を挙行することができませんでした。しかし、本年度は様々な対策を取られたうえで、こうして皆さんに歓迎の言葉をお話することのできる機会をいただいたことを、大変嬉しく感じています。

さて、新入生の皆さんは今、どのようなお気持ちでしょうか。期待、希望といったプラスな気持ちもある一方で、不安や心細さもあるかと思いますが。そこで私からは二つ、大学生活を充実させるうえで大切だと思うことを、アドバイスしたいと思います。

一つ目は「何事にも積極的に挑戦すること」



### 祝電

順不同

日本私立大学協会	会長 小原 芳明様
新潟県	知事 花角 英世様
新潟市	市長 中原 八一様
新潟商工会議所	会頭 福田 勝之様
新潟国際情報大学	同窓会 みずき会
みずき会会長	高橋 毅様
株式会社日本ドリコム	代表取締役 小林 淳一郎様

お話しした、もし自分で見つけた「課題」への挑戦でつまづいたとき、そこに頼れる仲間がいることは、とても大きな支えになります。私自身も、挑戦している課題に何度もつまづき、挫折しそうになったことがありました。ですが、そこで私が救われたのは、同じクラブの仲間や先輩であったり、一緒にいてくれる友達の存在です。皆さんにはこれから、多くの「友達」をつくる機会があります。そして大学でできた友達や仲間は、自分が困ったときに必ず支えになってくれるはずです。ぜひとも新しくできた「友達」や「仲間」を大切に、今後の学生生活を送ってほしいと思います。

大学は、勉強することだけがすべてではありません。自分が興味あることや挑戦してみたいことには積極的に行動を起こし、様々なことを経験してみてください。どんな結果でも、かならず自分の「貴重な経験」になるはずです。

最後になりますが、新入生の皆さんのこれらの4年間の学生生活が充実したものになることを願い、歓迎の言葉とさせていただきます。

### 木村 誠

きむら まこと

経営学科 教授

#### 担当科目

●経営情報論 ●流通論 ●デジタル戦略論

#### 略歴

東京大学大学院工学系研究科博士課程単位取得退学／長野大学企業情報学部教授



### 新任教員紹介

### 梅原 英一

うめはら えいいち

情報システム学科 教授

#### 担当科目

●情報産業 ●コンピュータシステム  
●情報プロジェクト特論

#### 略歴

電気通信大学／野村総合研究所でトレーディングや資産運用システムの開発に従事／東京都市大学名誉教授





# 新入生に望む

## 国際学部



佐々木 寛 学部長

大学は、「真理」を探究し、発信するところ。生きる上で、何が善くて何が悪いのか、何が成功で何が失敗なのか、一から考え直します。

皆さんが今まで「正解」だと思ってきたものは、必ずしも正しくはないかもしれません。皆さんが今まで毎日気にしてきたことは、もしかすると本当はどうでもいいことかもしれません。たとえば、皆さんが受験勉強の際に試さ

## 「自由」の中を独り歩む力を

薄っぺらい「成功」なんかも、信じてはいけません。すべて自分の頭で考えて、一歩一歩「自由」に、自分の道を切り拓いていくしかありません。

資格や単位も大切ですが、大学ではそれよりも、この「自由」の中を独り歩む方法を学んでほしいと思います。「自由」は、時に孤独を要求するのではありません。時に孤独を要求するのではありません。実な世界を生きていく皆さんの卒業後の人生にとって、最大の贈り物になるでしょう。卒業後も錆びつかない、ホンモノの知性を身につける中で、ホンモノの友人にも出会えるかもしれません。国際学部では、その「自由」への歩みを応援する優れた先生方が皆さんを待っています。

## 経営情報学部



小林 満男 学部長

よう。人生100年時代が到来しつつあり、社会の高齢化も急速に進んでいきます。

このような状況の中で皆さんが大学で学ぶ意義は何でしょうか。おそらくは大学卒業後50年以上の間、働き続けることになる社会の中で、何を学ばばよいのでしょうか。すでに自分の将来像を見定めている人もいるかもしれませんが、これから自分の人生をじっくりと考えてみようという人もいます。大事なことは4年間の大学生活の中で、将来、

学びを「習慣」にすることです。そうすれば将来の不測事態に遭遇してもあわてなくて済むはず。

学び続ける習慣を身につけるためのポイントを3つ提案します。一つ目はまずは受け入れることです。後先を考えずにまずはやってみるということです。二つ目は自分が興味を持ったこと、関心のあることについて徹底的にこだわってみることです。深掘りすることで新たな発見、新たな楽しみと出会うかもしれません。そして三つ目は、縁をすなわち関係性を大事にしてほしいのです。

## 何事も受け入れ、やってみよう

昨年はコロナ禍に翻弄された1年でしたが、しばらくはこの状況が続くような気配がします。日本は課題先進国と呼ばれていますが、その最大の課題は急速な少子高齢化の進展です。明治時代の一時期日本が一番人口が多かった新潟県ですが、現在は全国第15位です。人口推移からみても新潟県はまさに課題先進県と言えるでし

企業や団体での仕事を通し、社会の課題を解決していく上で必要な学ぶ力を知り、身につけることです。そしてその

係する人々との関係を豊かにしながら取り組めば、何事も成就するはず。皆さんの挑戦を期待しています！

# オープンキャンパス 2021

高校生のための **nuis体験イベント!**

無料 送迎バス運行

第1回 7/11(日) 第2回 8/1(日)  
第3回 9/5(日) 第4回 12/12(日)

会場 新潟国際情報大学 本校 (新潟市西区みずき野3-1-1 JR越後赤塚駅下車 徒歩7分)

参加お申込み 本学ホームページまたは下記までお申込みください。

お問い合わせ先 入試・広報課 TEL 025-264-3777(直) E-mail nyushikouho@nuis.ac.jp

- ◆学部・学科紹介 ◆入学者選抜情報
- ◆模擬授業
- ◆語学体験(英語・ロシア語・中国語・韓国語)
- ◆入学者選抜対策講座 ◆コンピュータ実習
- ◆実験体感コーナー
- ◆入学者選抜・海外留学・就職・学生生活個別相談
- ◆小論文対策講座 ◆キャンパスツアー
- ◆在学生によるなんでも相談
- ◆保護者対象プログラム

※時間やイベントについては、変更または中止となる場合があります。最新情報は本学ホームページをご覧ください。

また、今年には県国際観光協会と

ターに7人  
N U I S  
観光プロ  
ジェクト  
を立ち上  
げ、4月から着地型観光プログラ  
ムに着手する予定です。

ムに着手する予定です。


県観光サポーターに任命されたのは、相澤裕花、市野瀬鈴花、佐藤陽美、野澤海乃（以上2年）、内藤奏音（3年）、竹内由貴、中山未悠（以上4年）の7人。昨年

サポーター取材ツアーに参加して

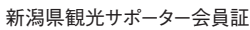
有名なインフルエンサーによる

有名なインフルエンサーによる英語ライブ配信では、撮影の裏方として参加。様々な活動を通じ、新たな視点や新渇の隠れた魅力に気付くことができました。

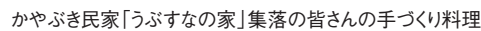
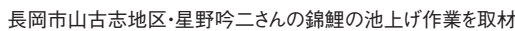
また、普段交流することができない、第一線で活躍する観光業界のプロや外国人の方々と接することができ、とても貴重な体験となりました。



新潟県観光サポーター会員証



(国際文化学科 2年 野澤海乃)



現地からSNSで発信された観光情報

**活動** 12月には、野澤海乃さんが「Exploring Niigata vol.2」の生配信撮影ボランティアとして参加しました。制作した観光動画は左記のURLから見ることが出来ます。

(国際学部 講師 佐藤 泰子)

(国際学部 講師 佐藤 泰子)

イベント配信 URL:<https://www.facebook.com/events/501333544081952>

・(2021年2月10日) No.3 『衣装と生きる女性たち—ミャオ族の物質文化と母娘関係』(京都大学学術出版会、2020年) に関するインタビュー(ブックトーク・オン・アジア 京都大学東南アジア地域研究研究所)

### 3) 委員・社会的活動・記事・その他

・(2021年2月1日) 共同研究者「新型コロナウイルスによる強制的な在宅勤務は、主観的な幸福・仕事の生産性・男性の役割にどのように影響したか？」  
[https://www.osi.tsukuba.ac.jp/fight\\_covid19/magnier-watanabe/](https://www.osi.tsukuba.ac.jp/fight_covid19/magnier-watanabe/)



# 世界に開かれた大学を実感

## 開講17年で参加者100人超

大学を卒業して、今年で18年。佐々木寛「社会人ゼミ」という学びの場で、40歳を過ぎても勉強を続けています。というかむしろ、恥ずかしながら大学生のときよりも社会人になった今のほうがはるかに学んでいる気がしています。毎月休むことなく続

きたま学生も参加しています。この緩さが長く続いたコツかもしれない。最近では、米国在住の元中学教師もオンラインで参加して、大袈裟にいうとゼミがグローバルになっている。この間参加した人数は1000人を超えます。

大学の番外編といえるこうした活動が長年無償で行われてきたのは、本学があり、佐々木先生がいたからです。本学は学生のためだけにあるのではなく、新潟や世界のためにあるのだと感じます。関心のある方はぜひご連絡ください。共に学びましょう。

## 政治学から文学まで

## 米国からオンライン参加も

右から2番目筆者

いたこのゼミで、実に48冊のテキストを読破しました。読んだテキストは政治学からシェイクスピアまで何でもありです。社会人ゼミは、本学を卒業した以外の社会人も参加していますし、社会人ゼミと言いつつ、と

(有田純也)  
2003年3月20日、  
イラク戦争開戦の日に  
情報文化学科卒業

# 個別企業説明会

# 佐々木 寛社会人ゼミ



本学では、「学内個別企業説明会」を随時開催しています。申し込みをいただいた企業・団体との日程調整後に学生からの申し込みを受け付け、本校教室を会場に90分間の枠を設けて実施しています。(当分の間、対面形式は新潟県内企業のみとし、県外企業はオンラインでの開催となります。)

例年は新潟県内外を問わ

## 増えるオンライン方式

令和2年度 91件に延べ257人が参加

令和3年2月までに91件の説明会が実施され、延べ257人の学生が参加しました。最近では全国的にオンラ

## 湧源 編集後記に代えて

入試委員長 白井陽一郎

パトリック・オウジェドニークという名のチェコ作家が、『エウロペアナー20世紀史概説』という書を書いている。原作は2001年の出版、日本語訳は2014年だ。大きな本屋さんにさえ、すでに置いてないかもしれないが、ネットで探せば見つかるだろう。素晴らしい本だ。第1回日本翻訳大賞を受賞している。学生に推薦したい。

大学の教員であることの絶対的な条件のひとつに、読書量で学生を圧倒する、ということがある。美味しいお酒の揃った昔ながらのバーのパレーンダーが止まり木の客に美味しいお酒を紹介するように、素晴らしい本を紹介できることが大切だ。

よく覚えていないのだが、この本にこんなくだりがあった。第2次世界大戦中のドイツ。女性が死体の片付けに駆り出されていた。灰にして肥料にするためだ。有機肥料の不足が深刻化していたドイツで、街のあちこちの死体は貴重であった。そのひとつに、男女二人で抱き合った死体があった。固まっていた引き剥がせない。死体片付け係の女性のひとりが、ノコギリで切り離すことを命令される。その女性、しかしその上官の命令を拒否する。そのため、銃殺刑に処されることになった。ところがだ。銃殺を命じられた男の兵士が、そんな嫌だといって、逃亡してしまふ。確か、こんな話だったとおもう。実話らしい。

大学教員が学生に良き本をあたかも利酒のプロのように紹介し推薦できるようにすべきだといったところで、結局のところ、そこにどんな意味があるのか、よく分からない。銃殺を命じられ逃亡したこの兵士は、もしかしたら、人生で1冊の本も読んだことがないのかもしれないのである。間違ったことをやらされそうになり、逃亡する兵士。教育の所産なんかではなからう。本能の行動だったのではないか。わたしは、上官の命令を拒否した女性の信念の行動よりも、嫌で仕方なくて逃げ出した兵士の本能の行動を信じる。そんな限界を感じつつも、新潟国際情報大学から、やがては、翻訳大賞にノミネートされるような作品を訳す翻訳家が育っていくことを、願ってやまない。

## 教員の活動 (本人申告による)

### 1) 研究論文・図書

白井 陽一郎(国際文化学科・教授)

- ・(2020年12月26日) 白井陽一郎監訳 クルト・ドゥブーフ『トライバル化する世界：集約的トラウマがもたらす戦争の危機』明石書店
- ・(2021年1月1日) 「EUは真にリベラルな秩序を目指せるのか？」『図書新聞』(2021年1月1日号)

佐藤 若菜(国際文化学科・准教授)

- ・(2020年12月) 『1978年以降の日中間交流に関する人類学的考察：ミャオ族の民族衣装に着目して』ANNUAL REPORT OF THE MURATA SCIENCE FOUNDATION, Vol.34 (628-634)

藤本 直生(国際文化学科・准教授)

- ・(2021年1月) John L. Adamson, Naoki Fujimoto-Adamson "Translanguaging in EMI in the Japanese tertiary context: Pedagogical challenges and opportunities", English Medium

Instruction and Translanguaging (15-28)

山田 裕史(国際文化学科・准教授)

- ・(2021年1月) 「人民党長期支配下で台頭するカンボジア版『太子党』」IDEスクエア (アジア経済研究所) [https://www.ide.go.jp/Japanese/IDESquare/Eyes/2021/ISQ202120\\_002.html](https://www.ide.go.jp/Japanese/IDESquare/Eyes/2021/ISQ202120_002.html) (1~11頁)

### 2) 学会・研究会・講演等

佐藤 若菜(国際文化学科・准教授)

- ・(2021年2月6日) 「古着から展示可能な民族衣装へ：中国少数民族の装いにおけるグローバルな広がり」と価値の変遷」新学術領域研究「グローバル関係学」ワークショップ「装いと規範」(京都大学・オンライン)
- ・(2021年2月20日) "Inheritance of Embroidery Techniques among Miao Women: Case Studies from the Guizhou Province, China", Serial Academic Webinar 「Cultural Transmission against



新潟国際情報大学  
学長 野崎 茂

本日ここに学士の学位を授与された情報文化学部186名、国際学部112名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。新潟国際情報大学の役員、教職員、関係者一同心より祝福致します。併せてご家族、ご友人、ご関係の皆さまにもお慶び申し上げます。

本日こうして卒業式を挙行できましたこと、誠に感慨深いものがあります。昨令和元年度の卒業式典はご案内のとおり新型コロナウイルス感染症の災禍により中止せざるを得ませんでした。本日ここに参列の皆さんはどんな思いで式典に臨んでおられるのでしょうか。大学生活最後の1年間不完全燃焼のまま過ごさざるを得ず、思い残すところが多かったという方もおられるかも知れません。他方で、制約が多々ある中でも精一杯の努力で所定の課程を修了したという達成感を感じておられる方もいるかも知れません。思いはそれぞれでありましょう。我々教職員も採り得る中で最善の策を追求して参りましたとはいえ、皆さんの大学生活最後の1年間におけるいろいろな希望に必ずしも十分に応えることが出来なかったのではないかとという忸怩たる思いが残っております。

それにしても急遽立ち上げたCisco Webexによるオンライン遠隔授業への皆さんの即座

の対応ぶりには感心させられました。単に変更になったオンライン講義形式に追隨しただけではなく、自主的なグループワークへの取組みに発展させるなど様々な工夫を凝らしてくれた方々もおられました。皆さんのデジタル能力、習熟度の高さには感心させられること頻りでした。この1年、粘り強くよく耐えてくださいました。

学修面のみならず生活面においても然りです。感染リスクを回避するため社会活動全般に亘る行動規制が敷かれ、経済活動の縮小が余儀なくされました。それに伴う世帯収入への影響やアルバイトの機会の減少

## 変化の兆しを掴み 厄災乗り越えたくましく

なども相俟って、経済的な困難に対処しなければならなかった方も多かったのではないのでしょうか。

こうした苦境を何とか乗り越えながら私たちは本日この日を迎えることができました。

今回の厄災の渦中で、私たちは様々な我慢を強いられました。

今回の事態を受けて一部には「この厄災は国際協調を退行させ、国際機関は無力となった。これは我々が従来推し進めてきた世の中の国際化の動きに水を差すものである」と論ずる向きもあるようです。確かに人の往来、物流、果ては国境を越えた技術の移転や資本の移動、投資にも大きな

制約が掛かっております。都市封鎖といった強硬措置を取った国も多くあります。そうした主張がなされるのも肯けるところで

とは言うもののここに来て、ワクチンの効果により感染拡大が一段落し経済活動が復活することを見越し再び物流が動き始めた、との報もあります。まだまだ予断を許さない状況が続いておりますが、多くの有識者が指摘するように新型コロナウイルス感染症の世界的大流行によっても、グローバル化の重要性は変わらないのではないのでしょうか。むしろこの厄災があってもグローバル化の流れを止めてはならない。脱グローバル化は世界経済の破綻にもつながりかねません。そうしないためにも新たな多国間主義で効率的な国際協力体制を構築す

る必要があります。グローバル化とはそもそも多面的、複合的なものであります。この国際協力の輪を迅速に効率よく築き上げていくことに力を発揮するのは、デジタル技術の進歩に裏打ちされた情報化の進展です。本学で国際化、グローバル化、そして情報化の何たるかを学んだ皆さんの知見や能力が大いに活かされる時代がすぐそこに到来しているのです。

それでは、このコロナ厄災の後の世界はどうなるのでしょうか。一つ気がかりなことがあります。しばらく前から「自国第一主義」の気運が高まっておりますが、それがこのコロナ厄災により一層拍車がかかっているように見えることです。その結果、先ほど申し上げたとおり国際協調の潮流が退行しているのではないかとと思われることです。新たな多国間主義の下で効率的な国際協力を樹立するには時間が掛かるのかも知れません。暫くの間分断された社会、分断された経済が現出することになるのかも知れません。とは言え、これだけは確かなことがあります。グローバル化なくして経済成長は難しいということです。皆さんの本学で蓄えた力が必要な時代はすぐそこに来ています。

皆さんに望むのは、これから社会で活躍するに当たっては、是非風の流れ、世の中の流れに敏感であっていただきたいということです。流れの向きや強弱に敏感であってください。変化の兆しを早いうちに掴み取ってください。はじめは微妙な変化や微候であっても気が付かないうちにそれが積み重なってある時に劇的に姿形を変えてしまふということがあります。それまで当たり前だ、常識だと考えられていた価値観や概念が、気が付くと全く様相の変わったものになってしまふという事例、いわゆるパラダイムシフトですが、これを皆さんもあちこちでご覧になっていることと思います。そして今般のコロナ厄災は至る所で既存のパラダイムをシフトさせる、価値観を大きく変容させる契機になっています。

皆さんはこれからこのポストコロナの、あるいはウィズコロナの変転極まりない世の中を、流れを素早く読み取りながら逞しく渡って行かなければなりません。「艱難汝を玉にす」という言い回しもあります。「願わくば我に七難八苦を与えたまえ」と月に祈った戦国時代の武将もおりました。「若い時の苦労は買ってでもせよ」とも言います。苦労を経験すると人は強靱になるといいます。苦労した経験の大切さを謳う、これに類した故事ことわざは枚挙に暇がありません。皆さんのこの1年間の苦労は将来必ず報われるはずです。英国にはもともと直截的な警句「No pressure, no diamonds.



(圧力がなければダイヤモンドは生まれ  
ない)」があります。皆さんは大いに輝く資  
質を備えたダイヤモンドの原石です。自ら  
を磨き上げて、輝くダイヤモンドになっ  
てください。磨くことを怠ってはいけませ  
ん。「玉磨かざれば光なし」です。これか  
ら磨き続けてください。

この「自分磨き」の一助となるのが同窓  
会ネットワークの活用です。新潟国際情報  
大学は創立後四半世紀を越したばかりのま

## 理事長祝辞



学校法人 新潟平成学院  
理事長 星野 元

新潟国際情報大学第24回卒業生298名  
の皆さん、卒業おめでとうございます。

併せてご父母の皆さま、心よりお祝いと  
お喜びを申し上げます。

コロナ禍のなかで昨年は、卒業式、入学  
式とも残念ながら中止せざるを得ませんで  
したが、こうして卒業生の皆さんを目の前  
にしてお祝いの言葉を述べるこ  
が出来ますのは、誠に嬉しい限り  
です。ただ、皆さんにとっては恒  
例の祝賀会を今年もまた開かれな  
いのは寂しいことでしょう。

さて、私がここ数年間、卒業式のたびに  
祝辞の中で繰り返して強調してきたのは、  
私たちが逆境の時代のまっただなかで生き  
抜いていること、そうした試練に耐えて耐え  
抜いて、難局を乗り越えていこう、という  
ことでした。そのためには「勇気」と「覚  
悟」をもって果敢に挑戦することが欠かせ

だ若い大学ですが、これまでに皆さんを含  
めて累計6956名の卒業生を送り出して  
参りました。その建学の理念は「日本文化  
の理解の上に立ち、国際的視野のもと、情  
報文化の発展に貢献できる有為の人材たら  
んとする意欲のある青年を教育し、健全  
な心身を持つ、個性豊かな人間形成に資  
する」こととあります。皆さんはこの度本  
学での課業を通じ知識、経験の修得を果た  
されたと同時に7000名になんとす

ない、と訴えて参りました。

そうしたなかで、この度の新型コロナの  
感染拡大が加わった訳です。大規模・過激  
化する自然災害、多くの人命が奪われ続け  
ているテロや地域紛争、貧富の格差拡大と  
世界の分断など、数えきれないほどさまざ  
まな危機や脅威が私たちを取り囲み、核戦  
争の偶発的勃発も想定せざるを得ないよう  
な時代に私たちは存在していることを、強  
く意識しなければなりません。そこにコロ  
ナ禍、パンデミックです。私は全く疫病の  
ことは想定していませんでした。

フランスの経済学者が新聞の評論で「疫  
病の怖さは、その毒性だけでなく、時代を  
も変えてしまう『破壊力』にある」と語っ  
ておりますが、私自身の身の回りでも、い  
ろいろ思いあたる変化が起きています。皆  
さんもそう感じているのでしょうか。

# 逆境の時代 心の「宝物」を忘れるな

変化の大きな一つは、日本をはじめ世界  
全体、社会全体が言ってみればヒステリッ  
クな症状に陥ってきているような気がして  
なりません。「民主的」とか「民主主義」  
の名のもとに、そうした症状が以前からあ  
ったように感じていたのですが、コロナ禍  
によって加速したような気がします。コロ

る同窓会ネットワークという貴重な資産を  
手に入れました。同窓会は大学の力の重要  
な源泉の一つです。この資産、大きく広が  
った人のネットワーク、いずれ必ず役に立  
ちます。是非活用していただく。そ  
して自分でもそれをもっと広げていただ  
ください。増やしていくってください。

「顧みての微笑み」という言葉がありま  
す。これは本日の皆さんのような門出を迎  
える方達にいつも私が贈る言葉です。先ほ

コロナ禍のなかで抑圧され、ガマンして身を縮  
めざるを得ない状況が1年余も続けば、そ  
うした症状になるのも無理はない、と思  
います。しかし私が気になり、怖れるのは、  
人の心の問題です。自分の信条や意見、行  
動と異なる、あるいは対立する側に対して  
耳を傾ける自制心とか寛容さが、どんな  
失われていっているのではないかと。そして  
同時に不満をため込んでいく人々が増えて  
いつていっているのではないかと、という心配で  
す。

コロナ禍のためだけではないかも知れま  
せんが、結果的には、そうした傷口ともい  
うべき社会の溝が生まれ、分断が大きく広  
がることによって社会の制度、仕組みが悪  
い方に変化していく、そんなように感じて  
います。

1世紀前のスペイン風邪では、世界の死

者が5000万人にも及び、それが結果と  
して第1次世界大戦の終結を早めた、とも  
言われています。疫病が時代という歴史  
を変えたわけです。

日本のある国際政治学者の一人も「1世  
紀は1000年単位でなく、21世紀は202  
0年で終わった。2021年の今年からは

ご紹介した、皆さんを鼓舞するようなこ  
とわざ、警句ではありません。錢の言葉と  
しては何の変哲もない簡素でさり気ない言  
葉かも知れませんが、皆さんがこれからの  
人生の節目節目で来し方を振り返って見た  
時に微笑みを以て総括ができますように  
と、そしてまた皆さんのこれからの人生に  
幸多かれと祈りつつ私からの祝いの言葉、  
錢の言葉とさせていただきます。

新しい世紀が始まったと考えた方がよそ  
うだ。例えコロナ禍が収束しても、われわ  
れの社会や暮らし方はもう元には戻れな  
い」と語っています。

その通りかも知れませんが。私たちは  
ま、歴史の大きな転換点に立たされてい  
る、そのことは確かでしょう。

本日の卒業式にあたり、私は一つだけ皆  
さんをお願いしたいことがあります。それ  
は大きく揺らぐ時代、困難な生きづらいつ  
時代に立たされても、祖先や親や私たちが大  
切に守ってきたものを、譲ってはいけないも  
のを決して忘れたり、粗末にしたり、置き  
ざりにしたりしないほしい、ということ  
です。大切なもの、大事なものは、親や  
兄弟姉妹との絆はもちろん友情、弱者への  
思いやり、ふるさとを強く想う心などな  
ど、自分自身の「宝物」としての「心の持  
ち方」のことに他なりません。

最後になりますが、皆さんがこ  
れから10年、20年経って「本学で  
学んでよかった」と思うかどう  
か。このことは同時に大学が役に  
立ったかどうか問われることになる訳で  
すが、結論は、これから先の皆さんそれぞ  
れの「生き方」次第、「心の持ち方」次  
第、ということを上記して、贈る言葉と  
いたします。



〈総代〉国際文化学科  
宮下 凌

## かけがえのない4年間

冬の寒さも和らぎ、暖かな日差しに春の訪れを感じる季節となりました。本日は、教職員、保護者の皆さまのご臨席を賜り、新型コロナウイルス感染症対策の下、こうして卒業式を挙行していただけることに卒業生一同、心より御礼申し上げます。

4年前の春、それぞれが様々な思いを胸に秘め、大学生活をスタートさせた私たちは、いま、早すぎる時の流れを惜しみ、充実した大学生活に思いをはせながら、今日という日を迎えました。

入学した当初、自分の中にあつたのは「外国語を勉強したい」という漠然とした目標だけでした。しかし、通訳ボランティアや語学研修などの活動を通して海外の人との交流は、ただ学ぶだけでなく、それを実践することの楽しさを教えてくれました。

また、中国をはじめとした様々な国の文化、歴史、特定の分野に限られない国際的な学びも私たちの知見を大きく広げてくれるものでした。

そして、もう一つ、大学生活では多くの出会い

に恵まれました。あたかくご指導いただいた先生方。何より、ともに学び、高め合い、学生生活を送ってきた友人たちとの出会いが、今この壇上で答辞を述べている自分をつくってくれました。

様々な指導とサポートをいただいた教職員の方々、ともに学び、かけがえのない学生生活を送ってきた仲間たち、この4年間の時間をつくってくれたすべての方に感謝します。

本当にありがとうございました。

今後の後輩の活躍と新潟国際情報大学の発展を願い、答辞とさせていただきます。

## 祝電

五十首順

岡三にいがた証券株式会社

取締役 社長

辻 和彦様

株式会社総研システムズ

代表取締役 社長

清水 保様

新潟総合警備保障株式会社

代表取締役 社長

廣田 幹人様

株式会社日本ドリコム

代表取締役

小林 淳一郎様

株式会社マルイ

代表取締役

清水 辰雄様

## 第24回までの卒業生は合計6,956人に

年 度	卒業生数	情報文化学科	情報システム学科
平成9年度(第1回)	295人	116人	179人
10年度(第2回)	290人	124人	166人
11年度(第3回)	303人	126人	177人
12年度(第4回)	294人	116人	178人
13年度(第5回)	291人	118人	173人
14年度(第6回)	277人	111人	166人
15年度(第7回)	314人	118人	196人
16年度(第8回)	294人	115人	179人
17年度(第9回)	299人	121人	178人
18年度(第10回)	278人	110人	168人
19年度(第11回)	312人	126人	186人
20年度(第12回)	285人	117人	168人
21年度(第13回)	267人	105人	162人
22年度(第14回)	310人	117人	193人
23年度(第15回)	272人	110人	162人
24年度(第16回)	294人	113人	181人
25年度(第17回)	291人	124人	167人
26年度(第18回)	278人	107人	171人
27年度(第19回)	269人	124人	145人
28年度(第20回)	288人	114人	174人
年 度	卒業生数	国際文化学科	情報システム学科
29年度(第21回)	282人	106人	176人
30年度(第22回)	286人	110人	176人
令和元年度(第23回)	285人	118人	167人
令和2年度(第24回)	302人	116人	186人
合 計	6,956人	2,782人	4,174人

※9月卒業生含む

## 退職教員 あいさつ



## 刺激的で楽しい有意義な時間

情報システム学科教授 西山 茂

2021年の3月末日をもって、新潟国際情報大学を定年退職（退任）します。2010年4月1日に着任しましたので、丸11年本学に在職したことになります。

座学や演習で大勢の学生にものごとを教えるということ、研究室等で少人数の学生と議論しながらものごとを作り上げていくことは、極めて刺激的であり、有意義で楽しい時間を過ごしました。

教員には教育・研究以外にも大学運営のための仕事があります（学内行政

とを教えるということ、研究室等で少人数の学生と議論しながらものごとを作り上げていくことは、極めて刺激的であり、有意義で楽しい時間を過ごしました。

とを教えるということ、研究室等で少人数の学生と議論しながらものごとを作り上げていくことは、極めて刺激的であり、有意義で楽しい時間を過ごしました。

とを教えるということ、研究室等で少人数の学生と議論しながらものごとを作り上げていくことは、極めて刺激的であり、有意義で楽しい時間を過ごしました。

とを教えるということ、研究室等で少人数の学生と議論しながらものごとを作り上げていくことは、極めて刺激的であり、有意義で楽しい時間を過ごしました。

とを教えるということ、研究室等で少人数の学生と議論しながらものごとを作り上げていくことは、極めて刺激的であり、有意義で楽しい時間を過ごしました。

とを教えるということ、研究室等で少人数の学生と議論しながらものごとを作り上げていくことは、極めて刺激的であり、有意義で楽しい時間を過ごしました。

とを教えるということ、研究室等で少人数の学生と議論しながらものごとを作り上げていくことは、極めて刺激的であり、有意義で楽しい時間を過ごしました。

とを教えるということ、研究室等で少人数の学生と議論しながらものごとを作り上げていくことは、極めて刺激的であり、有意義で楽しい時間を過ごしました。

とを教えるということ、研究室等で少人数の学生と議論しながらものごとを作り上げていくことは、極めて刺激的であり、有意義で楽しい時間を過ごしました。

とを教えるということ、研究室等で少人数の学生と議論しながらものごとを作り上げていくことは、極めて刺激的であり、有意義で楽しい時間を過ごしました。

とを教えるということ、研究室等で少人数の学生と議論しながらものごとを作り上げていくことは、極めて刺激的であり、有意義で楽しい時間を過ごしました。

とを教えるということ、研究室等で少人数の学生と議論しながらものごとを作り上げていくことは、極めて刺激的であり、有意義で楽しい時間を過ごしました。

とを教えるということ、研究室等で少人数の学生と議論しながらものごとを作り上げていくことは、極めて刺激的であり、有意義で楽しい時間を過ごしました。

とを教えるということ、研究室等で少人数の学生と議論しながらものごとを作り上げていくことは、極めて刺激的であり、有意義で楽しい時間を過ごしました。

とを教えるということ、研究室等で少人数の学生と議論しながらものごとを作り上げていくことは、極めて刺激的であり、有意義で楽しい時間を過ごしました。

とを教えるということ、研究室等で少人数の学生と議論しながらものごとを作り上げていくことは、極めて刺激的であり、有意義で楽しい時間を過ごしました。

とを教えるということ、研究室等で少人数の学生と議論しながらものごとを作り上げていくことは、極めて刺激的であり、有意義で楽しい時間を過ごしました。

とを教えるということ、研究室等で少人数の学生と議論しながらものごとを作り上げていくことは、極めて刺激的であり、有意義で楽しい時間を過ごしました。

とを教えるということ、研究室等で少人数の学生と議論しながらものごとを作り上げていくことは、極めて刺激的であり、有意義で楽しい時間を過ごしました。

とを教えるということ、研究室等で少人数の学生と議論しながらものごとを作り上げていくことは、極めて刺激的であり、有意義で楽しい時間を過ごしました。

とを教えるということ、研究室等で少人数の学生と議論しながらものごとを作り上げていくことは、極めて刺激的であり、有意義で楽しい時間を過ごしました。

とを教えるということ、研究室等で少人数の学生と議論しながらものごとを作り上げていくことは、極めて刺激的であり、有意義で楽しい時間を過ごしました。

とを教えるということ、研究室等で少人数の学生と議論しながらものごとを作り上げていくことは、極めて刺激的であり、有意義で楽しい時間を過ごしました。

とを教えるということ、研究室等で少人数の学生と議論しながらものごとを作り上げていくことは、極めて刺激的であり、有意義で楽しい時間を過ごしました。

とを教えるということ、研究室等で少人数の学生と議論しながらものごとを作り上げていくことは、極めて刺激的であり、有意義で楽しい時間を過ごしました。

## JABEE認定プログラム—23人に修了証書授与



日本技術者教育認定機構（JABEE）に認定されている、情報システム技術プログラムの令和2年度修了証書授与式が、3月19日、新潟市民芸術文化会館（りゅーとぴあ）で行われ、23名に修了証書が授与されました。

JABEE修了生には「技術士補」の資格が与えられ、文部科学省令で定める技術士資格一次試験免除の優遇措置が受けられます。また、情報システムを開発する技術者になるために必要な教育を受けたことが社会的評価として与えられます。

今後も研さんを続け情報交換を行うために、技術士と教員による交流会を年2回、新潟と東京で開催しています。このような機会も利用して、ますます社会で活躍されることが期待されています。



私の大学生活4年間は「軽音楽部」という居場所なしでは成り立たなかったと、大学生活の終わりを前にしてとても感じています。

私は、野球部以外に所属したことがなく、大学でのサークルや部活動は未知のもので、不安しかありませんでした。そんな時、声をかけてくださったのが軽音楽部の先輩でした。少しでも早く馴染めるように、初心者ながら、のめり込むようにベースの練習を始めました。そして音楽の良さを知り、バンドを組む楽しさを知ることができました。軽音楽部では紅翔祭ライブ、クリスマスライブなどに4回のライブを行っています。その他にも、他大学との合同ライブや

## 卒業にあたって

新潟国際情報大学で過ごした4年間は私にとってかけがえのない宝物になりました。あつという間に過ぎてしまった大学生活は、この先の私の人生で大きな財産になると思います。

大学生活で最も熱心に取り組んだのは韓国語です。韓国が好きで韓国語を勉強したい一心で入学し、大学生活では韓国語を学び、実践できるたくさんのお機会を与えていただきました。その中でも派遣留学と交換留学の2度の留学体験と韓国人交換留学生のアドバイザーはとても貴重な体験でした。

留学では、本場の韓国語を体感し語学力の向上はもちろん、外国での生活を体験することで精神的

## わたしの大切な居場所

情報システム学科 齋藤 大我

定期ライブなども企画して行っています。ライブ以外にも海でのBQや夏休み合宿を行いました。部長として企画や運営をしていたこともあり、どれもかけがえのない思い出として残っています。最後の1年間はコロナウイルスの影響もあり、ライブも満足に出来ず、思うように活動できなかったことにとても悔しい気持ちで溢れてきます。ですが、最後にみんなの努力で卒業ライブを開催することができ、みんなの笑顔や涙を見ることが出来てとても幸せでした。今まで、私を支えてくれた「軽音楽部」に感謝しかありません。本当にありがとうございます。みんなが大好きです。

この大学に入学した当初、自分の中にあったのは「外国語を勉強したい」という漠然とした目標だけでした。第2外国語を学びたいという思いもあり、英語とともに選択言語は中国語を選択しました。そんな中、先生の紹介もあり参加したのが、新潟港に大型クルーズ船が寄港する際の通訳ボランティアの活動です。ここでは、通訳だけでなく観光案内など様々な経験をすることができましたが、一番は「学んだ外国語を実践できる」というのはこんなにも楽しいものなのか」ということでした。学生生活の中でこの活動には何度か参加させてもらい、この経験が3年次の「G20新潟農業大臣会合」

## 派遣留学・部活動・ボランティア——忘れられないみずき野の日々

国際文化学科 竹之内 一葉

にも成長することができました。留学生アドバイザーでは、留学で学んだ実用的な韓国語を使いながら留学生の生活を助け、人を幸せにすることの喜びを知りました。実践する場が多かったからこそ、机に向かって勉強するだけでは知ることができない大切なことを学びました。

単に韓国語を勉強するだけでなく、韓国語を手段にすることで仲間と出会い、貴重な経験ができました。好きなことをとことん探求できたのは、たくさんのお機会を与えてくださった先生方、どんな時も支えてくれた家族、仲間の存在があったからこそだと思います。ありがとうございます。

これまでの4年間の大学生活を思い返すと、とても充実していて毎日があつという間に過ぎてしまったように感じ、卒業という単語に少し寂しさを覚えます。その中で一番思い出深い出来事は、学生会執行部での取り組みです。紅翔祭をはじめとする大学のイベント企画・運営に携わり、様々な業務を経験することができました。2年次には副会長としてサークルや部活動のサポートに取り組みました。中学・高校ではこのような活動は全く行なったことがなかったのに、右も左も分からない状況でしたが執行部員やサークル団体の皆さん、そして大学教職員の皆さま

## 想像もできなかった4年間

国際文化学科 宮下 凌

への学生ボランティアとしての参加にもつながりました。自分自身は通常であれば2年次後期の希望者による海外留学には参加しませんでした。長期休暇を利用した台湾での短期語学研修に参加したり、中国駐新潟総領事館主催の中日友好青年訪中団の一員として中国に行かせてもらったりと、入学時の自分には想像できないほど外国や外国の方に触れ、体験ができた4年間だったと思います。

最後になりましたが、4年間ともに学んできた友人、多くのサポートやチャンスを与えてくださった先生方に感謝を申し上げます。ありがとうございます。

## 思い出深い学友会活動

情報システム学科 皆川 琴音

4年次では新型コロナウイルスの影響で紅翔祭を開催することができず、大変残念に思います。来年度はこのような状況下でもできることを模索し、より良い紅翔祭を運営してほしいと願っています。

私が充実した4年間を送ることができたのは、いつも支えてくれた家族をはじめ、友人や教職員の皆さまのおかげです。

この場をお借りして心から感謝申し上げます。本当にありがとうございます。



# 298人が学びを胸に学窓巣立つ

## 令和2年度卒業式

令和2年度（第24回）卒業式が3月19日、新潟市民芸術文化会館（りゅーとぴあ）コンサートホールで行われ、298人（情報文化学部186人、国際学部112人）の卒業生が、夢と希望を胸に社会へ羽ばたきました。

式典では卒業生が一人ひとり名前を呼ばれて起立し、各学部代表に野崎茂学長から学位記が授与されました。野崎学長は、「皆さんはダイヤモンドの原石です（略）。玉磨かざれば光なし、磨くことを怠ってはいけません。これからも磨き続けてください」と激励の言葉を述べました。

昨年度の卒業式はコロナ禍で中止されたため、2年ぶりの実施となりました。今回は感染防止対策として、入場者を制限（保護者の入場は卒業生1名につき1名とする等）して執り行われました。



## 令和2年度 卒業生特別表彰

### 学長賞（学業成績優秀者）

情報システム学科 後藤瑞斗

### 地域交流賞

情報システム学科 西村真武

数年にわたる農村地域活動の集大成として新潟の特産品の発信や交流の場の提供などにより古町地区の活性化に貢献した。

### T.C.Y.Labo

情報システム学科 川上早紀

小山 麗  
坂爪 隼  
佐藤 麻実  
鈴木 潤平  
清野 夢花  
田村 詩織  
西村 真武  
長谷川 勇太  
藤田 開  
丸山 泰祐  
山田 駿弥

新潟県内各地でイベントの企画・運営や、SNSで地域の魅力を発信するなど大学で学んだ理論を応用し、地元住民と共に地域発展活動に尽力した。

Rainbow World Project  
国際文化学科 阿部瑞生  
五十嵐 杏奈  
小泉 きらら  
佐々木 愛莉  
南雲 文音

岩室地域において電気自動車による新たな観

国際文化学科 宮下 凌

光体験サービスの開発や地域の魅力発信など、ローカルSDGs実践の取り組みを行い、SDGs推進に貢献した。

### 学術賞

国際文化学科 金田 渚沙

高度な資格取得に向け努力し、優秀な成績を修めた。  
また、英語や中国語の通訳ボランティアとして語学を活かし課外活動に積極的に取り組んだ。

国際文化学科 伊藤 充来

高度な資格取得で優秀な成績を修め、英語の通訳ボランティアとして活躍した。

情報システム学科 久住 崇将

高度な資格取得で優秀な成績を修め、またマレーシアペトロナス工科大学との学術交流に貢献した。

### 国際文化学科

石黒 稜人  
石塚 祐輝  
竹之内 一菜  
中林 大空  
三河 唯斗  
山田 睦輝

高度な資格取得に向け努力し、優秀な成績を修めた。